
【数字の神様】

touji77

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【数字の神様】

【Nコード】

N1089V

【作者名】

touji177

【あらすじ】

俺は数字の神様に愛されている。

宝くじやロト6を買えば常に高額当選をし、入学試験も5択のマークシートを適当に埋めていたら9割超正答するくらいに。だが……。お題『試験』を使わせて頂きました。

今日はいよいよ合格発表日。

あいにく天候は雨。朝からしとしとと小雨が降り続けている。

大学の構内に張り出された合格発表の掲示板の前では、傘をさした多くの受験生が緊張の面持ちで見つめていた。自分の受験番号を見つけて飛び上がって喜ぶ者、無くて肩を落とす者。泣きながら友人に支えられてその場を去っていく者さえいる。あらら、可哀想にこの雨が君の涙を流してくれる事を祈るよ。

さて、そんな中俺は自信満々な気持ちで自分の番号を探していた。視界を遮る無数の傘がうつとおしい。用が済んだらさっさと立ち去ってほしいもんだ。いつまで見ていたって不合格が合格に変わるわけ無いだろうに。えっと、俺の番号は……あつた！ 『8842』。合格だ。まあ、試験を受け終わった翌日に予備校で自己採点をして合格ライン到達していたのは分かっていたんだけどね。倍率10倍超の有名難関大も俺にかかれば大した事はない。なぜなら、俺は数字の神様に愛されているから。

宝くじや口ト6を買えば常に高額当選をし、あまりの強運に家族や友達も脱帽しきっていた。今回の入学試験も5択のマークシートを適当に埋めていたら9割超正答していた。世の中なんてほんと、ちよろいもんだよ。次は何を目指そうか。司法試験を狙ってみるか。筆記があるが、択一に向ける労力をそれに回せば人より苦勞せず上手くいくだらう。なんせ俺は神様に愛されている男だから。

大学の校舎で入学手続きの封筒を受け取った俺は、傘をさしながら

ら鼻歌交じりに帰路を歩いてた。そうだ、合格していたと家族に知らせとかないとな。特におふくろは俺が全然勉強してない姿を見て心配していたようだから、物凄く喜ぶだろう。コートのポケットから携帯電話を取り出し、歩きながらおふくろの番号にかける。「トゥルルル」とコール音が2、3度鳴った後、すぐにおふくろが出た。

「あー、母さん。うん、受かったよ。余裕よー。あんな試験俺にかかれば楽勝だって言っただろ？ そうそう、俺のクラスのガリ勉君の林田は番号無かったよ。あんなに勉強していたのに可哀想だよなー。って、お腹空いたからさー、出前の寿司頼んでおいてよ。そんじゃ、よろ……」

と、俺の言葉が言い終わらない内に、背後で「キイイイイ」と車の急ブレーキ音が聞こえてきた。と同時に、身体に激しい衝撃が襲う。俺はゴム鞆まりのように路上のアスファルトに跳ね飛ばされた後、7、8メートル車に引きずられていた。身体中に激痛が駆け巡り、視界が真っ赤になる。口からゴボツと鮮血がこぼれた。

ど、どういう事だよ……何が何だか分からない。せつかく順風満帆な人生を送っていたのに。まだ18なのに死にたくないよ。神様はそんなに俺が憎かったのかよ。いや、違う。こんなに早くお迎えが来るほど俺は神様に好かれすぎちゃったんだな。あは……はは……は。

意識が薄れ、暗くなっていく視界の中で俺が最後に見たのは、猛烈なスピードで走り去っていく黒塗りのセダンの『8842』というナンバープレートだった。

(後書き)

読んで頂き有難うございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1089v/>

【数字の神様】

2011年9月7日12時40分発行